2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社サンセイランディック　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　3277　　URL　https://www.sansei-l.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　松崎　隆司
問合せ先責任者　（役職名）　取締役管理本部長　　（氏名）　三浦　玄如　　(TEL) 03-5252-7511

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	24,422	23.9	3,340	26.0	2,885	20.7	2,005	23.5
2025年12月期第３四半期	19,714	△7.7	2,650	46.4	2,390	50.4	1,623	53.5

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　2,029百万円(　24.9%) 2025年12月期第３四半期　1,625百万円(　53.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	123.40	―
2025年12月期第３四半期	99.52	―

(注)2026年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	43,950	15,224	34.6
2025年12月期	40,678	13,551	33.3

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期　15,224百万円　　2025年12月期　13,551百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	17.00	―	29.00	46.00
2026年12月期	―	21.00	―		
2026年12月期(予想)				27.00	―

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

2026年12月期　第２四半期末配当金の内訳　普通配当18円00銭　記念配当３円00銭（50周年記念配当）
2026年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2026年12月期（予想）の１株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「―」と記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年12月期（予想）の期末配当金は54円00銭、年間配当金は75円00銭となります。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	32.8	3,680	63.7	3,050	64.6	2,190	69.1	134.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

2026年12月期の連結業績予想における１株当たり当期純利益については、前述の株式分割が行われたと仮定し、算出しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	17,169,800株	2025年12月期	17,169,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	867,554株	2025年12月期	940,552株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	16,255,329株	2025年12月期３Ｑ	16,317,036株

（注）2026年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期末自己株式数」並びに「期中平均株式数」を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高24,422百万円（前年同期比23.9％増）となり、営業利益3,340百万円（前年同期比26.0％増）、経常利益2,885百万円（前年同期比20.7％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,005百万円（前年同期比23.5％増）となりました。

当第３四半期連結累計期間における販売実績及び仕入実績は次のとおりであります。

① 販売実績

区分	件数	前年同期比(％)	売上高(百万円)	前年同期比(％)
底地	259	＋11.2	10,793	＋4.6
居抜き	61	＋8.9	12,290	＋78.6
所有権	15	＋50.0	833	△60.1
その他の不動産販売事業	－	－	505	＋17.1
合計	335	＋12.0	24,422	＋23.9

（注）１．「件数」については、売買契約の件数を記載しております。
２．底地・居抜き・所有権の「区分」については、仕入時の区分により記載しております。仕入後に権利調整により底地から所有権に変わった区画等に関しては、仕入時の区分に基づき底地に含めて記載しております。また、底地・居抜き・所有権が混在する物件については、底地を含む物件は「底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「居抜き」に含めて記載しております。
３．「その他の不動産販売事業」は、地代家賃収入、仲介手数料による収入、業務受託手数料収入等であります。

販売におきましては、所有権の販売が減少したものの、底地及び居抜きの販売が増加したことにより、売上高は前年同期比で増加いたしました。

② 仕入実績

区分	区画数	前年同期比(％)	仕入高(百万円)	前年同期比(％)
底地	381	＋39.6	9,177	＋55.4
居抜き	53	＋6.0	7,937	△5.5
所有権	13	△7.1	1,006	△2.5
合計	447	＋32.6	18,121	＋18.1

（注）１．「区画数」については、底地の場合は借地権者の人数など、物件の仕入時に想定される販売区画の数量を記載しております。
２．底地・居抜き・所有権が混在する物件の「区分」については、底地を含む物件は「底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「居抜き」に含めて記載しております。

仕入におきましては、居抜き及び所有権の仕入が減少したものの、底地の仕入が増加したことにより、仕入高は前年同期比で増加いたしました。

（２）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べ2,431百万円増加し、40,263百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加1,426百万円、販売用不動産の増加1,161百万円によるものであります。

（固定資産）

当第３四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べ839百万円増加し、3,686百万円となりました。これは、主に有形固定資産の増加813百万円によるものであります。

（流動負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べ712百万円減少し、22,104百万円となりました。これは、主に短期借入金の増加1,643百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少2,439百万円によるものであります。

（固定負債）

当第３四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べ2,310百万円増加し、6,620百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加2,312百万円によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,673百万円増加し、15,224百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加1,599百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年８月10日に公表いたしました2026年12月期通期業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,716,888	6,143,313
売掛金	43,097	31,029
販売用不動産	32,346,817	33,508,812
貯蔵品	5,673	5,804
その他	722,574	578,786
貸倒引当金	△3,303	△4,298
流動資産合計	37,831,747	40,263,448
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産	1,528,349	2,345,475
減価償却累計額	△144,003	△174,539
賃貸不動産（純額）	1,384,345	2,170,935
その他	366,987	393,513
有形固定資産合計	1,751,332	2,564,449
無形固定資産	59,636	48,915
投資その他の資産		
その他	1,036,960	1,074,424
貸倒引当金	△1,121	△1,121
投資その他の資産合計	1,035,838	1,073,302
固定資産合計	2,846,807	3,686,667
資産合計	40,678,554	43,950,115
負債の部		
流動負債		
買掛金	256,241	273,812
短期借入金	15,031,210	16,674,709
1年内返済予定の長期借入金	6,111,764	3,672,736
未払法人税等	372,413	590,079
契約負債	398,755	331,034
賞与引当金	―	184,796
損害補償損失引当金	42,666	42,666
その他	603,490	334,637
流動負債合計	22,816,540	22,104,470
固定負債		
長期借入金	4,001,732	6,314,486
資産除去債務	6,817	6,857
その他	302,066	299,512
固定負債合計	4,310,615	6,620,856
負債合計	27,127,156	28,725,327

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	860,878	860,878
資本剰余金	841,065	859,057
利益剰余金	12,260,605	13,860,457
自己株式	△413,871	△381,544
株主資本合計	13,548,677	15,198,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,720	25,939
その他の包括利益累計額合計	2,720	25,939
純資産合計	13,551,398	15,224,788
負債純資産合計	40,678,554	43,950,115

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	19,714,444	24,422,191
売上原価	13,588,168	16,994,715
売上総利益	6,126,275	7,427,475
販売費及び一般管理費	3,475,330	4,086,784
営業利益	2,650,945	3,340,691
営業外収益		
受取利息	6,864	14,932
受取配当金	81	101
業務受託料	18,148	20,976
その他	4,695	8,125
営業外収益合計	29,788	44,135
営業外費用		
支払利息	242,464	431,580
支払手数料	36,804	49,308
その他	11,435	18,318
営業外費用合計	290,704	499,207
経常利益	2,390,029	2,885,619
特別利益		
補助金収入	131,113	―
特別利益合計	131,113	―
特別損失		
固定資産圧縮損	131,113	―
特別損失合計	131,113	―
税金等調整前四半期純利益	2,390,029	2,885,619
法人税等	766,131	879,662
四半期純利益	1,623,897	2,005,956
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,623,897	2,005,956

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	1,623,897	2,005,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,239	23,219
その他の包括利益合計	1,239	23,219
四半期包括利益	1,625,136	2,029,175
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,625,136	2,029,175
非支配株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

①　簡便な会計処理

・繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

・棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算方法

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、不動産販売事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	78,214千円	96,099千円